別 紙

研究集録用原稿の執筆についての注意

◎　本文は、Word　で作成してください。

◎　原稿の様式

|  |
| --- |
|  ①　横書き　Ａ４版縦置き　１枚 ②　上余白 20 mm　　下余白 25 mm　左余白 22 mm　右余白 22 mm ③ 段組２段（段組は９行目から　段間幅 8 mm　または 2 文字分） ④　横書き全角 52 文字／行　全角 50 行（２段組全角 25 字詰／段） ⑤　フォント　ＭＳ 明朝　　文字サイズ 9.0 ポイント |

１　注意事項

(1)　図表やグラフ・写真は、提出されたものをそのまま写真印刷します。

(2)　グループ研究の場合は発表者１名のみ記載し、「(発表者氏名)他○名」と記入してください。

(3)　原稿は誤字や脱字、難解・不可解な表現がないように十分推敲して提出してください。

また、児童生徒等の個人情報についても十分配慮をお願いします。

(必要ならば児童生徒の作品や感想、写真などの許諾を取っておいて下さい。)

(4)　提出する際のファイル名は

『九数教原稿【（小中高区分）・（分科会番号）】（氏名）・（県名）』とする。

（例）　九数教原稿【高・３】関屋文智・宮崎

※　原稿の表記等については、裏面の『研究集録用原稿執筆上の留意点』を参考にしてください。

２　研究発表について

(1)　発表者の方に当日ご準備いただくものは、(ｱ)当日発表用プレゼンテーションのデータ、(ｲ)当日配

布用資料（必要であれば）です。なお(ｲ)につきましては、A4版で作成し、１００部を大会当日ご

持参下さい。

(2)　当日配布用資料は、必ず分科会会場で会場責任者に手渡してください。

(3)　大会本部で用意してある機材は、スクリーン・プロジェクター・ＨＤＭＩケーブルです。ノートパ

ソコン、その他の接続に必要な機材は各自で持参してください。

(4)　その他、機材で必要なものがありましたら、研究発表の申込みに関する確認書の要望にご記入下さ

い。

 (5)　発表機材の接続確認は、発表当日に発表会場において各自で行って下さい。

(6)　発表の持ち時間は２０分です。

行番　　　 　『研究集録用原稿執筆上の留意点』　・・・・・【表記上の注意】・・・・・

　１ 　 中 第○部会

　２ 　　　　　　　　　　　　　　　　『(主題 ﾀｲﾄﾙ：ｾﾝﾀﾘﾝｸﾞ)○○○○○○○○○○○』

 ３ 　{空行}

４　 　　　　　　　　　　　　　　　　～(副題 ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ：ｾﾝﾀﾘﾝｸﾞ)○○○○○○○～(※不要な場合は空行にする)

 ５ {空行}

６ 　{空行} 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　右余白:22mm→

 ７ ←左余白:22mm 　　　　　　　　○○○○県○○○○市立○○○○中学校　発表者氏名：右詰すること

８ {空行}　 　　　　段間(中央ﾏｰｼﾞﾝ):8mm または 2文字分

９　 ○○　段組　１段目開始　○○○○○○○○○○○○○　　○○　段組　２段目開始　○○○○○○○○○○○○○

１０　 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

１１ 　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

１２ 　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

１３ 　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

１４

１５ 　　　※表記上の注意

１６ 　１　新かなづかいで常用漢字を用いて表現する。　　　　　８　日数教学会として常用の以下のものは

１７ 　　句読点は教科書に順ずる。　　　　　　　　　　　　　　　表現を統一する。

１８ 　　　読点はコンマ「，」　句点は「。」を使用する。　　　　　　及び→および，且つ→かつ，即ち→すなわち，

１９ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　但し→ただし，於いて→おいて，又→また，

２０ 　２　コンマ，句点，＋，－，×，÷，＜，＞，∠，＝　　　　　例えば→たとえば，其の→その，共に→ともに，

２１ 　　などの記号は１字分とする。　　　　　　　　　　　　　　　益々→ますます，此の→この，先ず→まず，

２２　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　出来る→できる，は握→把握，くふう→工夫，

２３ 　３　表の縦・横の罫はそれぞれ１行分とし，　　　　　　　　　つぎの→次の，特に→とくに，様々→さまざま，

２４ 　　分数や積分記号は２行分とする。　　　　　　　　　　　　　言う，云う→いう，演えき→演繹，　　など

２５ 　　数字はバランスを考え配置すること。

２６

２７ 　４　見出し番号は次の順に利用し，字下げは行わない。

２８ 　　　　１，２，３，・・・

２９ 　　　　(１)，(２)，(３)，・・・　 　　　 　　　　　　　９　研究のねらい，研究の方法，考察，結果のまとめな

３０ 　　　　①，②，③，・・・　　　　　　　　　　　　　　　　 ど研究の概要がよく分かるように，要領よく執筆する。

３１ 　　　　ア，イ，ウ，・・・

３２

３３ 　５　引用文献は，本文中に番号を書き，

３４ 　　本文の終わりに，引用・参考文献を記載する。

３５

３６ 　６　本文は常体で「・・と考える」「・・である」

３７ 　　などとし，本文の書き出し，改行の時は，必ず

３８ 　　１字下げで記載する。

３９

４０ 　７　学術用語に関する以下のものは表現を統一する。

４１ 　　３角形→三角形　　２等分線→二等分線

４２ 　　一つ，二つ→１つ，２つ

４３ 　　二次方程式→２次方程式

４４ 　　一対一対応→１対１対応　　など

４５

４６

４７ 　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

４８ 　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

４９ 　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

５０ 　○○　段組　１段目終了　○○○○○○○○○○○○○　　○○　段組　２段目終了　○○○○○○○○○○○○○